

ベースキャリア取付説明書 (ルーフレール無車用)


このたびは、純正用品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

本書はベースキャリアの取付方法について記載してあります。


取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行ってください。

本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取付けられたものについては取付作業者の責任となります。取付け後は、本書及び「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。

安全に関する表示

この取付説明書は使用に際して、特に重要な事項を **▲ 注意**、 アドバイス のマークを用いて表示してあります。

これらのマークにより表現された内容は、以下のような意味を持ちますので特に注意してください。

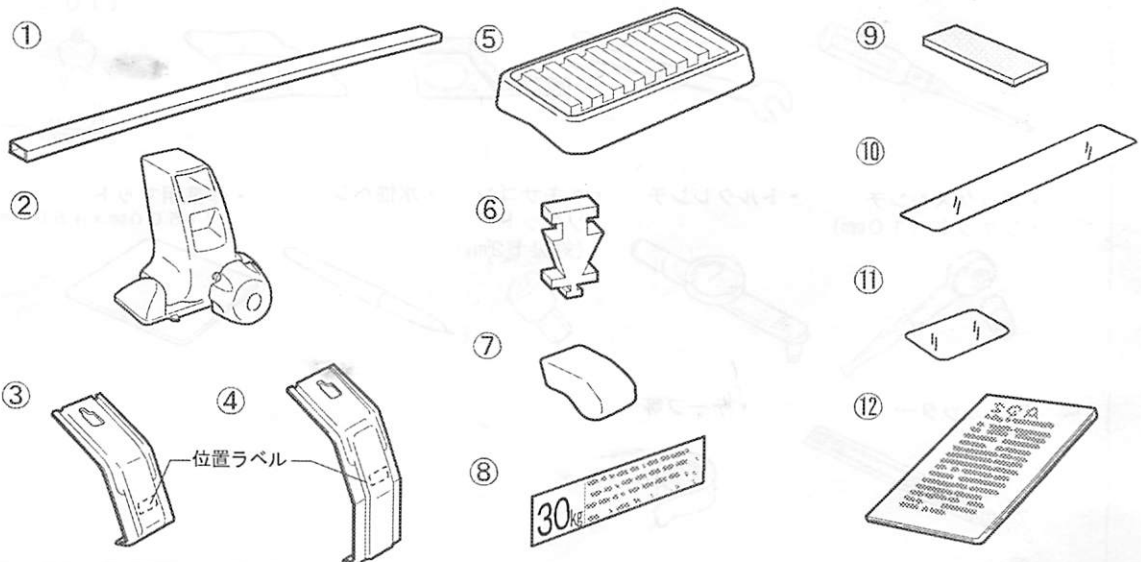
▲ 注意	取付け、取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示す。
 アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、および、知っておくと便利なことを示しています。

適用車種及び適用年式

適用車種	適用年式	適用車種	適用年式
JB33W	'98年1月～	JM23W	'98年10月～
JB43W	'02年1月～		
JB23W	'98年10月～		

構成部品

No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	フレーム角パイプ	2	⑦	エンドキャップ	4
②	脚 Assy	4	⑧	重量ラベル	1
③	フック (前右、左)	2	⑨	アンテナパット	1
④	フック (後右、左)	2	⑩	ガードフィルム (大)	8
⑤	クッションベース	4	⑪	ガードフィルム (小)	4
⑥	スライダ	4	⑫	取付説明書・取扱説明書	各1

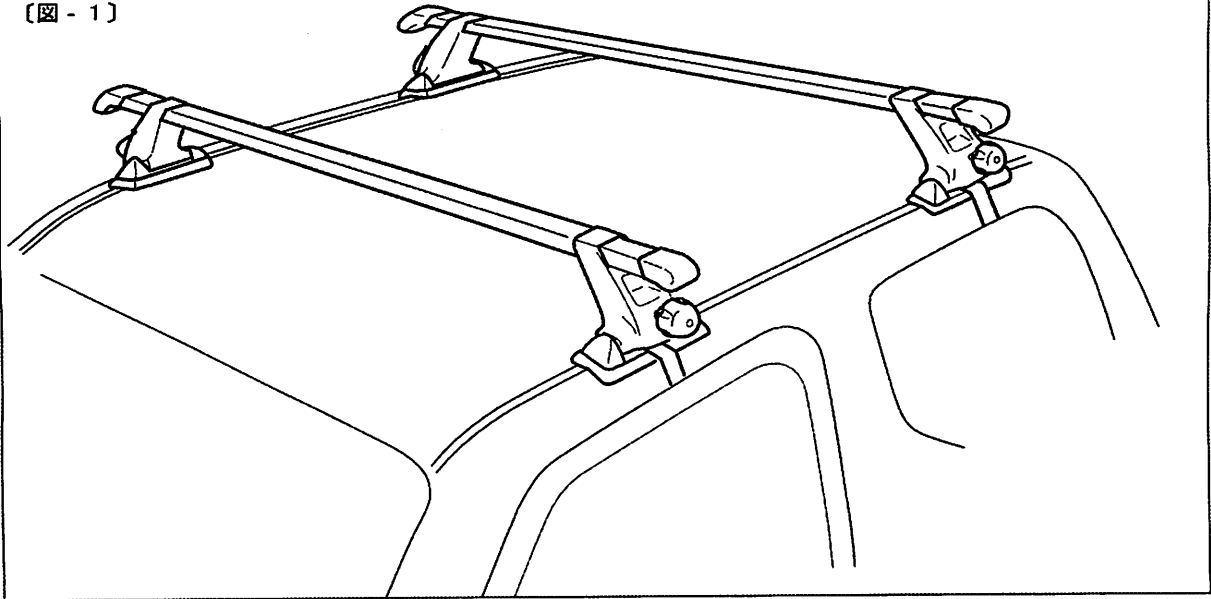


2180020

商品説明

(1) 取付参考図

〔図 - 1〕



(2) 商品の特徴

この商品は、ご使用の用途に合わせ、別売の
アタッチメントとの組み合わせにより荷物を積載
するときに土台となるキャリアです。
このベースキャリアのみで、荷物を積載するこ
とはできませんので、アタッチメントを同時に
装着してご使用くださいますようお願い致します。

注意

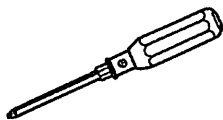
● 車両ルーフ側の最大積載重量は30kgです。

- | | |
|--------------------|----------|
| ・ベースキャリア……………自重4kg | } 30kgまで |
| ・アタッチメント……………自重 | |
| ・積載物……………重量(計量) | |

過積載は車両ルーフの変形、積載物の落下等
の原因となりますので厳守してください。

取り付けに必要な工具類

・⊕ドライバー



・スパナ(10mm)



・スケール



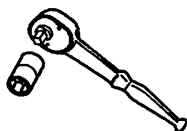
・ウェス(柔らかい布)



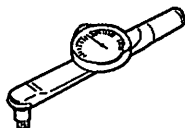
・中性洗剤
(10cc)



・ボックスレンチ
・ソケット(10mm)



・トルクレンチ



・ヘキサゴン
ソケット
(対辺12mm)



・水性ペン



・作業用マット
(1500mm×1500mm)



・カッター



・テープ等



取り付け上の注意事項

アドバイス

- 取り付け作業は、障害物のない安全を確保できる広い場所で行ってください。
- 商品の取り扱いには、落下したりキズをつけない様十分注意してください。
- キャリアを車両に取り付ける際は、必ず2人以上で行ってください。
- 各アタッチメントと同時装着する場合は、各アタッチメントの説明書に従ってください。

取付準備作業

1. 商品品番と取付機種の確認

この商品が、お取り付けになる車両（機種）と合致しているか、アクセサリカタログの適用表にて確認してください。

適用外車両へのお取り付けは絶対に行わないでください。

2. 構成部品の確認

- 1) 作業用マットを用意して各部品をマット上に並べてください。
- 2) 1頁の構成部品表の部品が全品あるか、また、汚れ、キズ、損傷がないか確認してください。

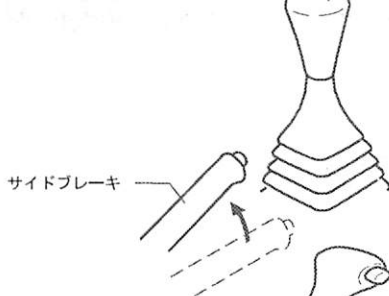
3. 工具の確認

- 1) 2頁の必要工具を準備してください。

4. 取り付け車両の準備 [I]

〔図 - 2〕 MT 車の場合

ニュートラル(N)へ

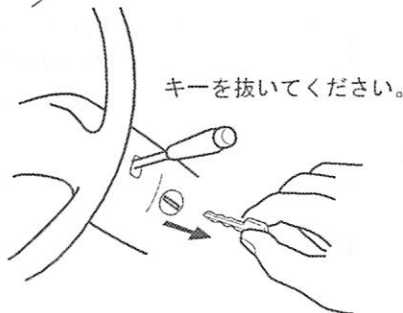


〔図 - 3〕 AT 車の場合

パーキング(P)へ



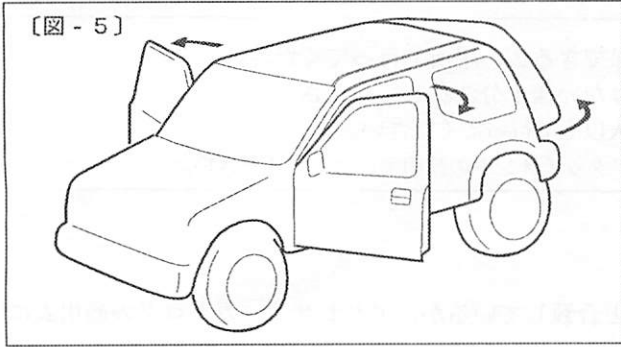
〔図 - 4〕



- 1) 車両を障害物のない（全てのドアを全開した時、干渉する物がないように）室内、または雨、風などがあたらない平らな場所に移動してください。
- 2) エンジンは停止させ、ニュートラル（MT車〔図 - 2〕）又は、パーキング（AT車〔図 - 3〕）にあることを確認し、車両のサイドブレーキをかけてキーを抜いてください。〔図 - 4〕

5. 取り付け車両の準備 [II]

[図 - 5]

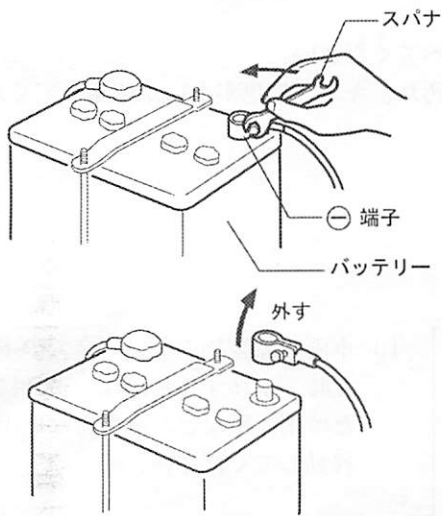


- 1) 取り付け作業に支障のないスペースを確認します。
左右及びバックドアを全開にしてください。

[図 - 5]

6. 車両の電源の準備

[図 - 6] バッテリーターミナル (⊖ 端子) の取り外し



- 1) ドア (トリム) ライト付車は、バッテリー⊖端子をスパナ (10mm) を使用し取り外してください。

[図 - 6]

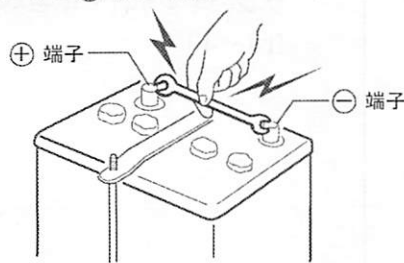
↑ アドバイス

- バッテリーあがりの原因となります。必ず実行してください。
- ⊕端子は外さないでください。
- スパナが⊕端子に接触しないよう注意してください。

[図 - 7]

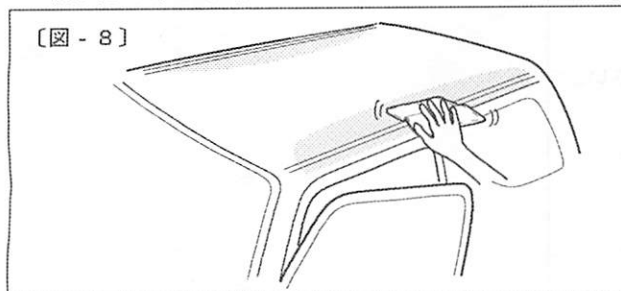
⚠ 注意

[図 - 7] ●スパナが⊕端子に接触しないこと。



7. 取り付け部の準備

[図 - 8]



- 1) 水でうすめた中性洗剤をウェスに浸透させ、ベースキャリアの取り付け部周囲の、ホコリ、油汚れ等をよく拭きとり乾燥させます。

[図 - 8]

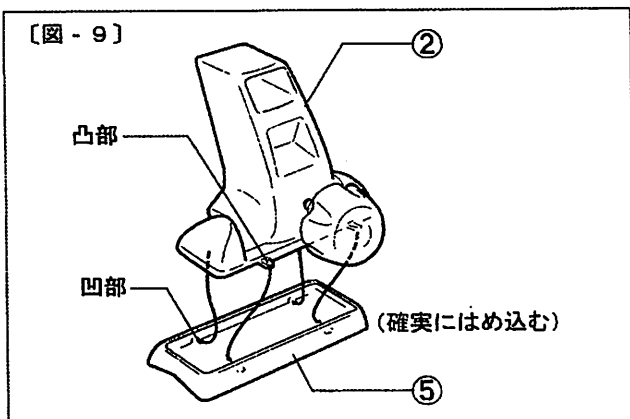
1・ベースキャリアの組み立て

👉 アドバイス

- 各部品の組付けは、キズを付けないよう作業用マットの上で行ってください。
- 各固定用ボルトの締め付けは、トルクレンチを使用し、指定トルクを厳守してください。

取付要領

(1) クッションベースの取り付け

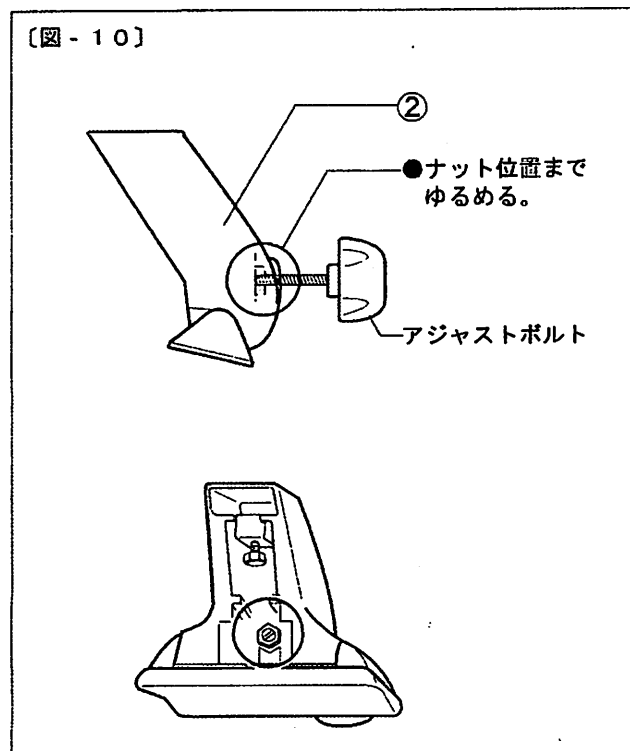


取付作業

- 1) クッションベースの凹部を脚 Assy ②の下部凸部 (4ヶ所) へはめ込みます。

【図-9】

(2) アジャストボルトの調整 (4ヶ所)



- 1) アジャストボルトを脚 Assy ②の内側ナット位置までゆるめます。

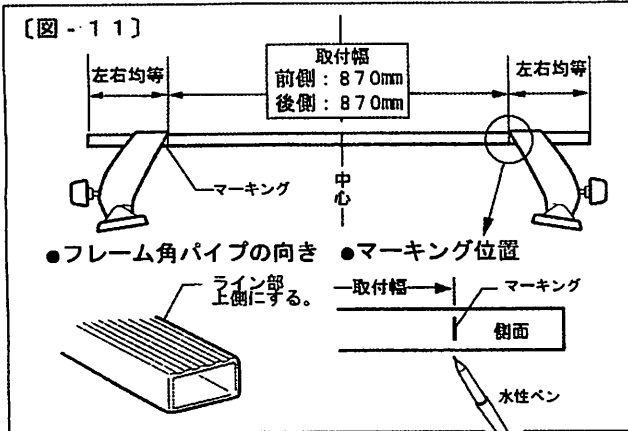
【図-10】

⚠️ 注意

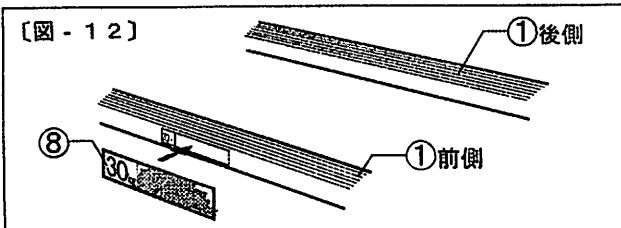
- アジャストボルトを4ヶ所均等に締め込む際の基準になりますから、必ず実行してください。

取付要領

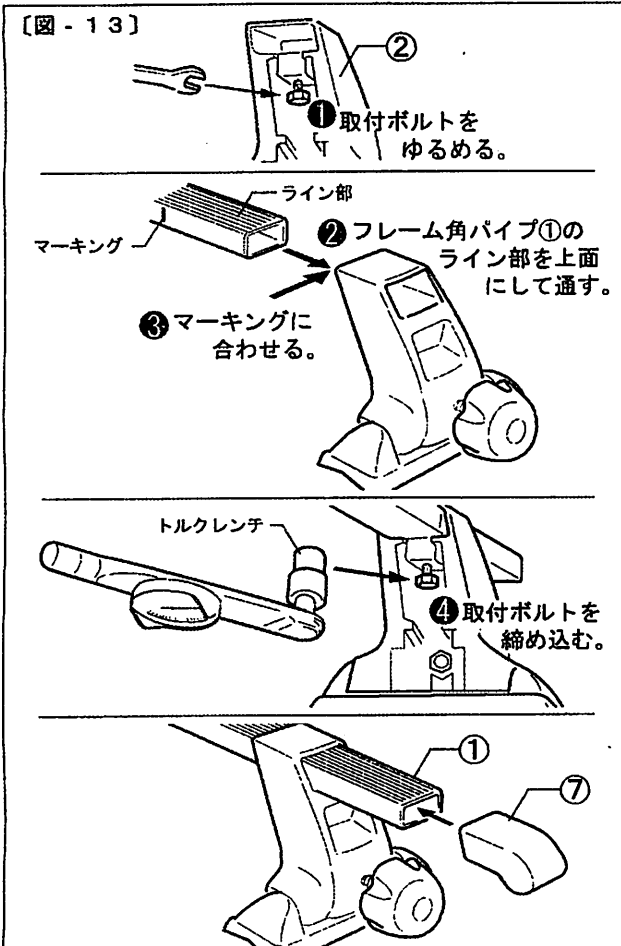
(3) 取付幅測定とマーキング (各4ヶ所)



(4) 重量・コーションラベルの貼り付け



(5) ベースキャリア組み立て



取付作業

- 1) フレーム角パイプ①の側面に取付幅を測定し、水性ペンでマーキングをします。〔図-11〕
前側：870mm
後側：870mm

注意

- ベースキャリアは前・後ができますので車両の取り付けに間違いのないよう気をつけてください。

- 1) 重量ラベル⑧をフレーム角パイプ①前側用の側面中央に貼り付けます。〔図-12〕

- 1) 〔図-13〕に示す①～④の順位でフレーム角パイプ①を脚 Assy ②に差し込みボルトを固定します。〔図-13〕
① 取り付けボルトをゆるめる。
② フレーム角パイプ①のライン部を上面にして通す。
③ マーキングに合わせる。
④ 取り付けボルトを指定トルクで締め込む。

参考締め付トルク 4.0 N・m
(40kgf・cm)

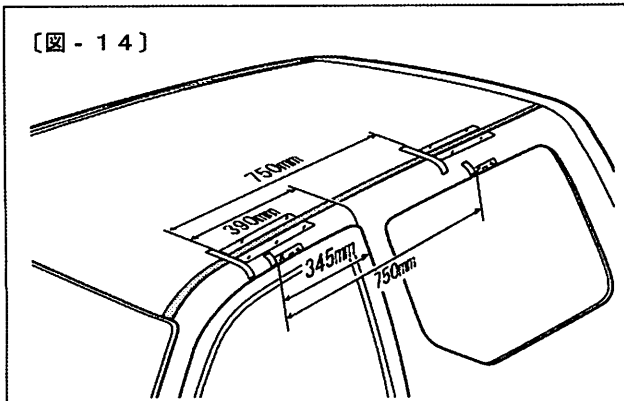
- 2) エンドキャップ⑦をフレーム角パイプ①にはめ込む。〔図-13〕

2. ベースキャリアの取り付け

取付要領

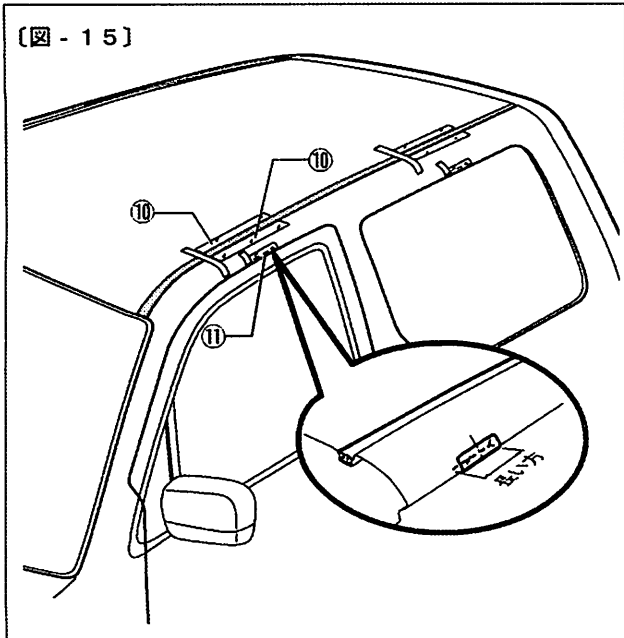
(1) 取付位置へのマーキング

【図 - 14】



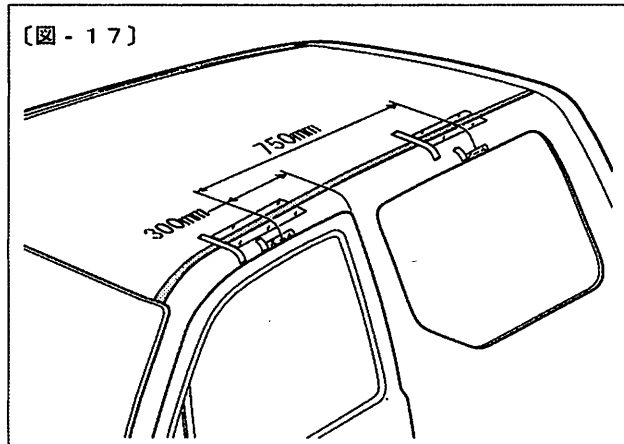
(2) ガードフィルムの貼り付け

【図 - 15】



(3) 取付け位置の確認

【図 - 17】



取付作業

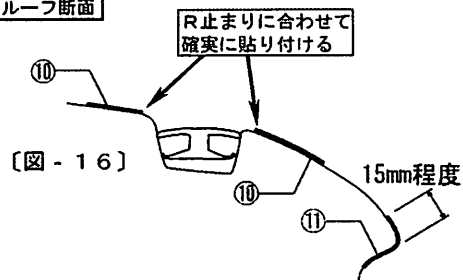
- 1) フロントドアフレーム後端を基準にして、貼り付けるガードフィルム⑩⑪の前端部位置をテープ等でマーキングします。【図 - 14】
※ルーフモール部；ガードフィルム⑩位置
※ルーフエッジ部；ガードフィルム⑪位置
- 2) 反対側も同じ要領でマーキングします。

- 1) ガードフィルム⑩⑪の前端部と貼り付けたマーキング位置を合わせ、左図及び下図の要領で貼り付けます。【図 - 15、16】

⚠ 注意

- ガードフィルム⑩⑪は、車体の保護と共にフック③④、クッションベース⑤のすべり止めの役割をはたしますので、必ず貼り付けてください。

ルーフ断面



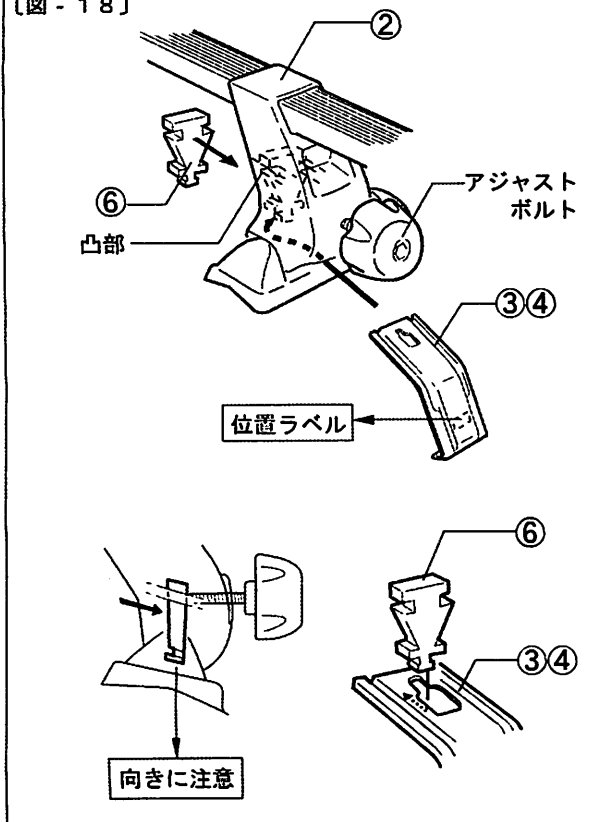
- 1) ガードフィルム⑩⑪の中心位置が左図の示す位置になっているか、確認します。

【図 - 17】

取付要領

(4) 脚 Assy へのフック及びスライダの組み付け (4ヶ所)

【図 - 18】



取付作業

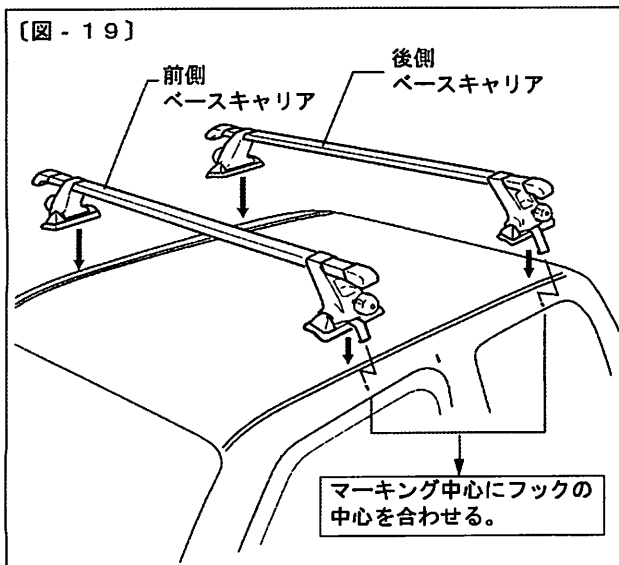
- 1) 脚 Assy ①裏側よりスライダ⑥ (向きに注意) を凸部に差し込みます。 [図 - 18]
- 2) ベースキャリアの前・後側とフック③④の位置ラベルを確認します。 [図 - 18]
- 3) 確認後、それぞれの脚 Assy ②下部よりフック③④を差し込み、スライダ⑥に引っ掛けます。 [図 - 18]

△ 注意

- フック③④を組み付ける時、裏面位置ラベルの指示位置を厳守してください。

(5) 車両への取り付け

【図 - 19】



△ 注意

- 取り付ける際は必ず2人以上で作業してください。
- ベースキャリアは、前・後がありますので確認して車上に載せてください。

[図 - 19]

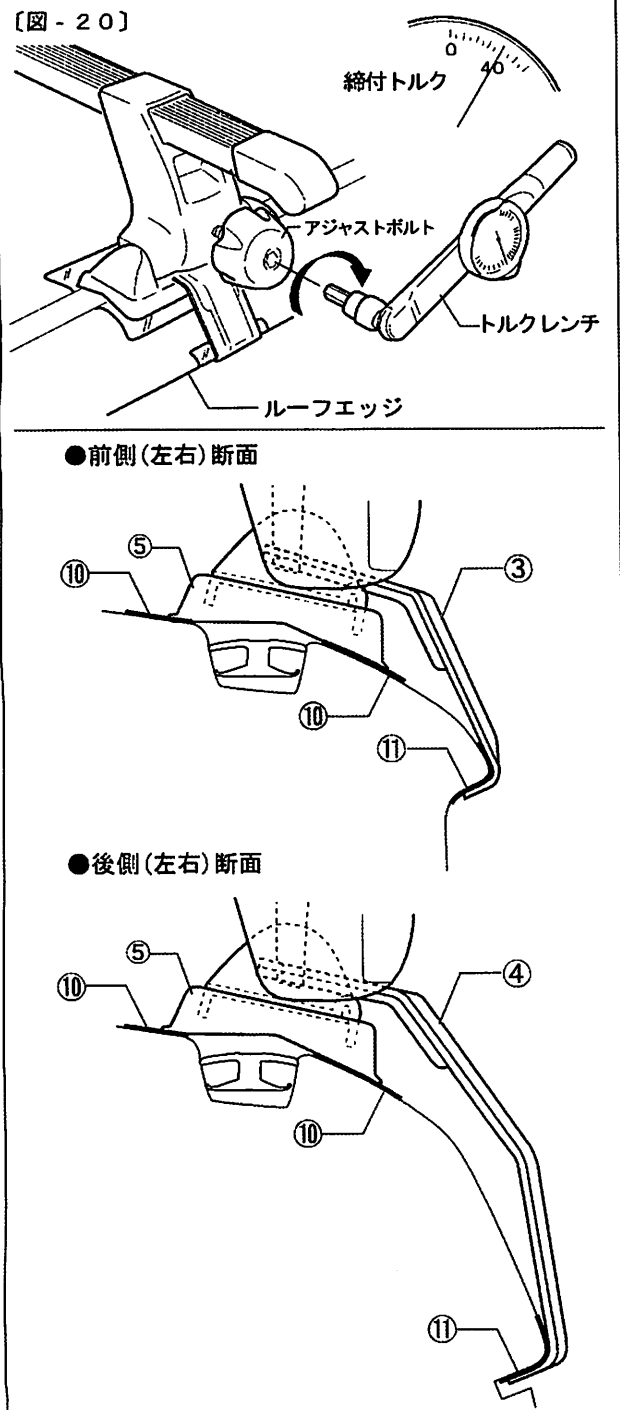
- 1) フック③④の位置ラベルを確認し、車両に載せます。 [図 - 19]
- 2) マーキング (取付位置) に合わせ、フック③④を右前⇒右後⇒左前⇒左後の順でルーフエッジに引っ掛けます。 [図 - 19]
- 3) ベースキャリア本体が車両の中心に位置しているか確認します。 [図 - 19]

△ 注意

- ルーフエッジへの引っ掛けが困難な場合は
 - 1) アジャストボルトが指示 (5頁 1 - (2)) 通りであるか
 - 2) スライダ⑥が凸部に確実に差し込まれているか
 - 3) 脚取付幅が (6頁 - (3)) の指定寸法であるか、再度確認してください。

取付要領

(6) フックの取付け



取付作業

- 1) アジャストボルトを右前⇒左前⇒後左⇒後右の順で仮止めします。【図 - 20】
更に4ヶ所均等に締め込み、最後に指定トルクで締め付けます。【図 - 20】

参考締付トルク $4.0 \text{ N} \cdot \text{m}$
($40 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$)

(4) アンテナパットの貼り付け

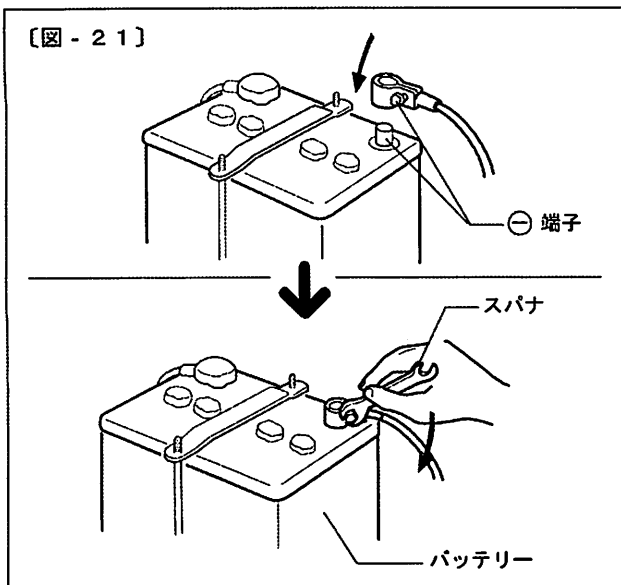
- 1) 車両のアンテナとベースキャリア又は、アタッチメント等と干渉する場所にアンテナパット⑩を必要な大きさに切って貼り付けます。

3. 取り付け後の商品の確認

- (1) 測定された指定位置に取り付けられているか確認します。[7頁(3)]
- (2) ボルト類が確実に締め付けられているか確認します。[6頁(5)-1][9頁(6)-1]
- (3) ベースキャリアにガタがないか確認します。
- (4) 確認後、不備がある場合は再度、取り付け作業を行ってください。
- (5) 取付け完了後、マーキング用のテープ[7頁-(1)~(3)参照]を剥がしてください。

4. 車両部品の復元

(1) バッテリー端子の復元



- 1) バッテリー⊖端子をスパナ(10mm)を使用し戻します。[図-21]

⚠ 注意

- スパナが+端子に接触しないよう注意してください。

- 2) オーディオ関係及び時計等再度調整してください。

お願い

1. 取り付けがすべて完了した後、本書「取付説明書」及び「取扱説明書」を必ずお客様に渡し、常にお手元に置くようお願いしてください。
2. 取扱いは別紙の「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用して頂けるようお願いしてください。